

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025～2026年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹事：森 敬

会報：古田 育則

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

前例会の記録 第 2204回

2026年 2月26日

卓話

「過疎化地域における道路狭小部の

アセットマネジメント」

場 所 関観光ホテル

担 当 出席委員

本日のプログラム 第 2205回例会 2026年3月5日

「本年度インターアクト事業報告と反省」 担 当： 青少年育成

国歌斉唱「君が代」斉唱…①

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱…⑤

「四つのテスト」唱和…職業奉仕

*会長あいさつ 吉田和也 会長



本日は、青少年育成委員会の担当で古田博文会員による「本年度インターアクト事業報告と反省」というテーマで卓話をいただきます。みなさまもご存知の通り、わがクラブは関商工にインターアク

トクラブを持っております。その活動内容はこの後の古田委員長の卓話で聞かせていただきますが、さまざまな

事業にたくさん参加していただいております。しかしながら、みなさまもご承知の通り、会員数の減少による事業費の減少というクラブの現状を考えますと、この先、今までと同じ事業の数は行えない状況となっていると思います。今年度もインターアクトクラブの年次大会や地区協議会についていってききましたが事業費も結構な金額となってしまっております。それらのことも踏まえて、古田委員長のお話を聞かせていただいて、今後のクラブ運営の参考としていただき、みなさまと一緒に関中央ロータリークラブの事業や活動が、無理なく楽しく行えるように、改革が行えたら良いと思っておりますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

話は変わりますが、最近是我的仕事が工場のラインの

塗替えの工事をさせていただいておまして、工場の休みの時にしか作業が出来なくて、土日は仕事になってしまっておりまして、ちょうど雨天だったこともありまして先日の火曜日に代休をいただきました。あいにくの雨降りでしたが、ちょうど梅の花が見ごろを迎えているころだと思い、岐阜の梅林公園に傘を差しながら妻と散策に出かけました。すでに散ってしまったものや、まだこれから咲くもの、ちょうど満開のもの、色とりどりの梅が咲いていてキレイでした。散策しながら、雨降りではございましたが、ふっと梅の花の甘く、ほのかで、どこか澄んだ良い香りが漂ってきました。どの花からこんな良い香りがするのか興味がわいて、いろいろな花の香を嗅いでみたのですが、梅の花はどれも同じ香りだろうと思っておりましたが、それぞれに違う香りがして驚きました。少しグーグルで調べてみましたら、白梅はライトで軽やかなフローラルな香り。紅梅はスパイシーで濃厚な、またはパウダリーな甘さを持つ香り。完熟南高梅は華やかで甘酸っぱい、フルーティーな香り。鶯宿(おうしゆく)は爽やかな香り。翠香(すいこう)はラフランスのような、うっとり膨らむ甘い香り。梅の香りは開花直後の朝が最も強く感じられ、夜には「暗香疎影(あんこうそえい)」という言葉があるように、暗闇の中に漂う良い香りを楽しめます。と書かれておりました。私は、なんて種類かはわかりませんが、黄色の花をつけた梅の香りがとても良く感じました。また雨降りではなく天気の良い時に出かけてみたいものです。

*本日のプログラム

「インターアクトの歴史と本年度事業報告と反省」

担当: 青少年育成委員長 古田 博文 会員



インターアクトというのは、年間行事で一番早く活動する委員会です。今年1月には地区から、韓国にホームステイする学生を募集します。これは、韓国の3600地区と我々の2630地区が姉妹提携をされていて、地区大会には、韓国のガバナーも参加され、韓国の国家を歌われます。毎年行われるのですが、私の記憶している限りでは20年前からインタ

ーアクト交換派遣事業をやっています。何をやるかと言いますと、生徒の募集は女の子が多いのですが、課題が出ますのでそちらを提出してもらいます。そして面接をするのですが、応募人数より多くても落とすわけにはいかないの、全員連れて行くことになります。

今年の年次大会(地区大会)は、伊勢でやりましたもちろん韓国からも学生が見えました。今度は日本から学生が行って、韓国の地区大会に参加します。その際、学生たちは、メンバーの家でホームステイをします。韓国の3600地区はソウルの仁川の近くで、ホームステイさせていただけるメンバーも多いそうです。

4月の協議会で、インターアクトの方針が決まり、5月に教師部会があり、インターアクトの顧問の先生と話し合い協議していきます。夏休みには年次大会が開催されるので、それにむけて準備をしていきます。

インターアクトの歴史はどうかと言いますと、関商工インターアクトクラブ [以後 IAC]の結成は今から40年前になり20周年記念誌によると、15周年の幹事を務められました渡辺正敏さんが記されています。結成以来5年間は関商工の吹奏楽部が活動の拠点であり、毎年20万円の活動費を提供、それらが全て楽器の購入に当てられていたそうです。1991年学校訪問し、新しくTACの組織を替え、国際奉仕活動を目的に学生の海外派遣などを考慮に入れいままで以上に支援する事になりました。生徒会主体の組織になり当事台湾の通宮ロータリークラブとのあいだに友好クラブ締結が結ばれていましたが、学生派遣を目的に新たに韓国春川市の昭陽(ソヤン)ロータリークラブとの間に友好関係締結しました。1991年6月21日韓国訪問仮調印、同11月2日開中央クラブ15周年記念式典に昭陽クラブより会長以下襲名ら来日本調印に至りました。第1回の派遣は1992年3月27日から2泊3日で行われ学生3名、教師1名RC会員、夫人1名ら同行、春川市長表敬訪問、聖修女子商業高校JAC訪問などが行われ、学生は韓国メンバー宅にホームステイし、観光としては38度線非武装地帯の見学などが行われました。受け入れは1992年11月27日より4泊5日で聖徳女子商業高校学生6名を含む総勢10名が来開され、同時に中、東濃インターアクト協議会にも韓国側が出席、スピーチされたそうです。2回目の韓国派遣

は 1994 年 7 月 24 日からで、春川昭湯 RC が新しく春川実業 高校 TAC のスポンサーとなり、以来 6 回の相互交換、参加学生の総数は 60 名を超えたと記されています。私も何度もインターアクト委員長を経験させて頂きました。2015-2016 年 39 期幹事の時、関商工 MAC ホストの年次大会を開催するにあたり苦労した覚えがあります。その前の 美濃クラブがホストされた時は地区インターアクト委員をやらせて頂き、それが随分役立ち、その難は会員の皆様には大変お世話になりました。

さて本年度の LAC 事業の報告ですが、夏休みの地区が主催の韓国訪問募集、教師部会、伊勢での IAC 年次大会参加、12 月の飛騨、中東濃 IA 協議会参加などがありました。前期分の 4 月 6 月からの活動が必要となります。特に大会が遠方での開催には多額の予算が必要となります。特に登録料、交通費の値上がりは事業費を圧迫します。さらに本当に学生たちが、楽しんで参加し、ためになっているのかどうか疑問な点も多く感じ、現在の当クラブでこれらの費用全てを賄うことは大変な事となりつつあります。

今回の飛騨、中東濃 IAC 協議会については、高山 RC70 周年記念事業と併用しても開催され賢いやり方だなと感じました。特にアメリカアカデミー賞にノミネートされた映画「国宝」の主演者に日本舞踊の振り付け指導された高山出身の舞踏家、谷口祐和氏と祖父に人間国宝、片岡仁左衛門を持つ、若手歌舞伎俳優、片岡千之助氏などのトークショウは興味深いものがありました。次年度は関中央での開催となります。これらを参考に効率よく低予算で為になる協議会になれば良いのですが、どうでしょうか？以上です。

*出席委員会

会員数 26 名、本日の出席 16 名です。

*ニコボックス委員会

17 イントのご投函ありがとうございました。

*その他の委員会報告

「地区資金の地区賦課金について」

喜久生明男ガバナー補佐

ご報告させていただきます。

・資金のやりくりや、経費削減の話もありましたが、まず

委員会のセミナーが結構たくさんあって、毎回1つの委員会が 1 つのセミナーをやるのではなくて、2 つか3つのセミナーを合わせて開催したらどうか。セミナーの回数を減らすとか。

・マイロータリーを利用して、各自勉強をすればいいのではないか。

・毎月のロータリー冊子も、紙ベースではなく、web 上で載せたらどうか。そうすれば印刷代が少なくて済む。

・時間の問題や参加費なども、若い方はなかなか敷居が高くて入会できないのではないか。

・マイロータリーの登録をお願いします。

*幹事報告

<次例会の案内>

第 2206 回 3 月 12 日 (木)

岐阜新聞社・岐阜放送

中濃総局長 舌間 隆博 様

卓話「スポーツの新しい見方」

担当:会長・幹事